

HC-1250DXの運転開始前必ず下記空欄に必要なことがらを記入ください。点検の時大変役立ちます。

項 目	ご記入欄
型 式	HC-1250DX
製 造 番 号	
ご 購 入 日	年 月 日
ご 使 用 日	年 月 日
販 売 店 名	TEL ()

〈無償修理規定〉

- 取扱説明書、製品本体に貼られた注意銘板に従った使用状態で保証期間内に故障した場合は無償修理させていただきます。
(イ) 無償修理をご依頼される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス店へご連絡いただき、商品と本書をご持参提示いただきお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合は原則として有料にさせていただきます。
(イ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、または破損。(ロ) 定格の圧力(最高圧力)以上で使用された場合。
(ハ) 30分以上の連続運転で使用された場合。(ニ) 電源200V等、異電圧接続による破損、または不具合。
(ホ) 発電機を電源として使用した場合。(ヘ) 本取扱説明書に記載された条件を超える過酷環境下(雨の中での使用、異常温度、粉じんの多い所・湿度の高い場所、油・油ミストの多い場所など・異物混入など)で使用された場合。
(ト) 製品、および部品を無断で改造された場合。(チ) 車両・船舶などに搭載した状態での運転を起因とする故障、または破損。
(リ) 取扱説明書、製品本体に貼られた注意銘板に記載した注意事項および点検、整備を順守されなかった場合。
(ヌ) 火災・地震・落雷および水害などの災害を起因とする故障、または不具合。(ル) プラスチック表面(シール表面含)、ゴム表面、塗装面および金属面の摩耗や打痕、引き摺りによる損傷、腐食による不具合。
(ヲ) 本書にお買い上げ年月日(お買い上げ年月日が証明できる書類可)が確認できない場合、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(ワ) 商品本体の製造番号を故意に剥がしたり、削り取った場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本製品の故障または不具合に伴う産業補償、営業補償などの二次的損害に対する補償は致しません。
- 本保証は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in JAPAN.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明な点はお買い上げの販売店、または最寄りのサービス店へお問い合わせください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	携 帯	090-3212-9902
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	携 帯	080-1838-8248
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	携 帯	090-7404-1915
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長茂町4-15	携 帯	080-1838-8248
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	携 帯	080-1838-8248
岡 山	710-0841	倉敷市堀南606-1	携 帯	090-8855-1690
福 岡	816-0912	大野城市御笠川11-8-7	携 帯	090-8855-1690
エスディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	携 帯	090-2515-0068
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	携 帯	080-1794-4141

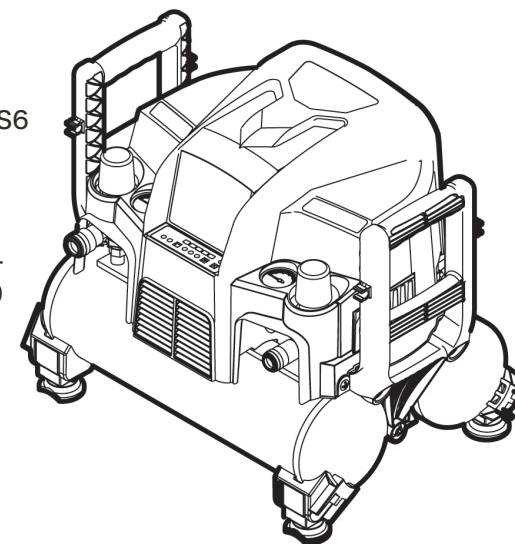
取扱説明書

ハンディコン HC-1250DX

このたびは **SEIWA** の『ハンディコン HC-1250DX』をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を最後まで読んでいただき、本製品の性能・特徴を十分にご理解の上で正しく安全にお使いください。なお、お読みになった後は、いつでもご覧いただけるようお手元に保管してください。

もくじ

お願い	S1
安全上のご注意	S2-S6
1. 各部の名称とはたらき	1
2. 現品の確認	2
3. 運転準備	2-4
4. 運転から停止まで	5-9
5. 保守・点検	10
6. 故障のときは	11
7. 補助タンク接続について	11
8. 標準仕様表	12
9. 保証について	12



圧力単位について

本取扱説明書の圧力単位は『MPa (メガパスカル)』表示です。従来単位『kgf/cm²』との換算は下表の通りです。

圧力単位	MPa	0.2	0.8	2.5	3.2	3.8	4.2
	kgf/cm ²	2	8.2	25.5	32.6	38.7	42.8

(換算率は 1MPa = 10.197kgf/cm²です。)

重要事項



ハンディコンは軽作業専用の空気圧縮機です。呼吸器系の機器など、生命に係る用途には使用できません。

この「取扱説明書」をよく読み、大切に保管してください。

お願い

『ハンディコン』を安全に 正しくお使いいただくために

この取扱説明書は、お使いになる方および保守・点検を担当される方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

○設置・運転・保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書および製品の注意銘板の内容を最後までよくお読みください。

○取扱説明書に記載しています安全の情報や注意事項・設置・運転・保守・点検・操作・取り扱い方法などの指示に従い、正しく使用してください。

○常に、この取扱説明書に記載してある使用範囲を守って使用してください。また、正しい保守・点検を行い、故障を未然に防止するようお願いいたします。

○この取扱説明書に記載していない操作・取り扱い、精和純正部品以外の交換部品の使用や製品および部品の分解・修理・改造は行なわないでください。機械の故障・人身災害の原因になることがあります。なお、これらに起因する事故については、当社は一切の責任を負いません。

○この取扱説明書で理解できない内容・疑問点・不明な点がございましたら、お買い求めの販売店または最寄りのサービス店にお問い合わせください。

○運転不能・故障・変形・破損などが発生した場合は直ちに使用を中止し、次のことをお買い求めの販売店または最寄りのサービス店に連絡して点検・修理してください。

- ・型式
- ・使用年数
- ・整備時期お知らせ表示 LED の点滅の有無など
- ・異常内容（異常発生前後の状態を含め、できるだけ詳細をお願いします。）

○記載している内容については、機器の改良などのため将来予告なしに変更することがあります。

○本製品は日本国内用として製造していますので、海外では使用しないでください。

○本製品を廃棄するときは、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に準拠し、必ず専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する必要があります。

○本製品は建築用スプレーガンや空気工具用の空気圧縮機として製造していますので、軽作業に限ってお使いください。また 30 分以上の連続運転となる用途には使用しないでください。

○本製品には、一般圧用取り出し口 [最大約 1.1MPa {約 11.2kgf/cm²}] (2 個) を設けています。

○使用されるガンおよび空気工具の取り扱いについても使用機器の取扱説明書をよく読み、正しく取り扱ってください。

○この製品は駆動源にインバータ電動機を採用しており、高電圧を発生する部分がありますので分解・改造は絶対に行なわないでください。

○本説明書の内容の一部または全部を無断で掲載したり、複写しないでください。

8. 標準仕様表

項目・単位	型式	HC1250DX		
		通常運転モード	パワフル運転モード	低速運転モード
消費電力	W	1,250		
電流値	A	15 以下		
空気タンク内最高圧力	MPa	4.2		
運転制御圧力	OFF 圧	4.2		
	ON 圧	3.2	3.8	3.2
取り出し可能圧力	一般圧	MPa	0 ~ 1.1 以下	
回転速度	min ⁻¹	可変 (最大 2,800)		1,500
吐出し空気量	低圧 (0.7MPa)	L/min	115	
使用電源	-	単相交流 100V 50/60Hz 共用		
空気タンク容量	L	9		
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	mm	450 × 317 × 363		
質量	kg	13		
空気取り出し口	一般圧	-	カブラ継手×2種	

9. 保証について

1. 保証書

裏表紙の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめいただき、内容を良くお読みの上、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から 1 年以内、かつ圧縮機運転時間が 1,200 時間以内です。

2. 修理を依頼される時は (持込修理)

- 保証期間中は
修理に際しまして保証書をご提示ください。保証書に記載の (無償修理規定) に従って、販売店または最寄りのサービス店にて修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

3. ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス店へお問い合わせください。

■お問い合わせは

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または最寄りのサービス店にお問合せください。

6. 故障のときは

次のような現象を発見した場合は直ちに使用を止めて、お買い求めの販売店または最寄りのサービスステーションに連絡し、点検・修理してください。

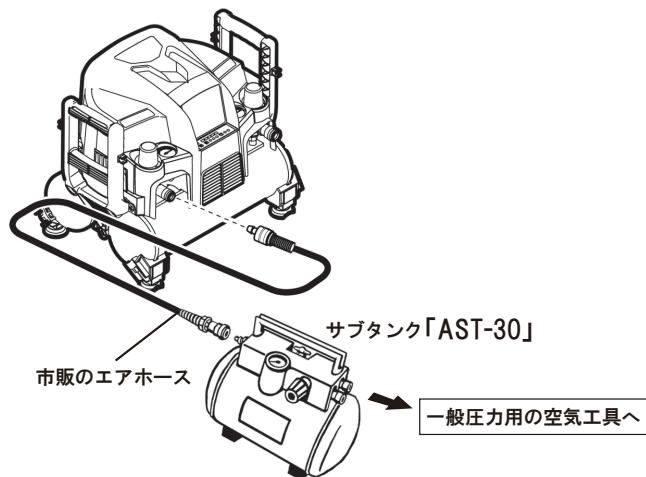
1. 運転 / 停止スイッチを押しても運転しない。また、電動機が起動しない。
2. 運転中に異常振動、異常音がする。
3. 圧力が上昇しない。
4. 圧縮空気を使用しないのに5分以内に再起動する。
5. トッテ、空気タンク、制御ボックスなどに変形や破損・亀裂が生じた場合。

7. 補助タンク接続について

多量の圧縮空気を一度に使用し、圧力不足となる場合は別売の補助タンクをご利用ください。

1. 補助タンク「AST-30」のご利用：
ハンディコンの一般圧用カプラ（メスカプラ）に市販のエアホースで接続してください。

★補助タンクの性能を十分に発揮していただくため、ハンディコンの減圧弁は最高圧力に設定し、スプレーガンへの供給圧力は空気タンクより後に設定した減圧弁で設定してください。



安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「安全上のご注意」を必ず守ってください。設置・運転・保守・点検の前に必ずこの「安全上のご注意」をよく読み、安全の情報や注意事項・操作・取扱方法などの指示に従い、正しく使用してください。お読みになった後は、お使いになる方および保守・点検を担当される方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告・⚠注意の表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

重傷： 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

傷害： 治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などを指します。

物的損害： 財産の破損および機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。



禁止

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

これら安全上の注意は、ハンディコンの安全に関して、より重要な面を補う提案です。お客さまは、機器・施設の安全な運転および保守のために各種規格・基準に従って安全施策を確立してください。お客さまがこれらの安全上の注意を無視した結果の責任は負いかねます。

特に安全上注意していただきたい内容について記載します。この他にも注意していただきたい項目が本文中に記載してありますので順守願います。

⚠警告

- ハンディコンで吸入圧縮、圧送できるガスは空気のみです。空気以外のガス圧縮には絶対に使用しないでください。（火災・破損などの原因）
- 本製品はガンや空気工具用の空気圧縮機として製造していますので軽作業に限ってお使いください。また30分以上の連続運転となる用途には使用しないでください。

安全上のご注意 (続き)

運転準備



警告

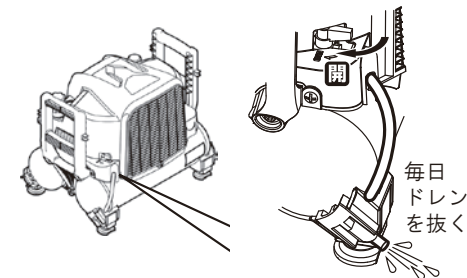
- この取扱説明書および製品の注意銘板の内容を最後までよくお読みください。
- 作業環境に応じて保護メガネ・保護帽・安全靴・防音保護具などを着用してください。
- お子様や作業関係者以外は近づけないでください。
 - ・作業員以外、製品や電源コードに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場に近づけないでください。
- 作業場の周囲環境を確認してください。
 - ・雨や蒸気など水分のかかる場所、水溜りでは使用しないでください。
 - ・近くに爆発性・引火性ガス(アセチレンガス・プロパンガスなど)・石油類(ガソリン、灯油など)・有機溶剤(シンナーなど)・爆発性粉じんなどのある場所では絶対に使用しないでください。(火災や事故の原因)
 - ・木くずなどのゴミやほこり、油分の多い場所には設置しないでください。また、鉄粉・砂じん・粉じんなどの異物がかかる場所には設置しないでください。(過熱火災事故や異常摩耗の原因)
- 開口部に指や釘などの細くて長い異物を入れないでください。(巻き込みなどによる故障や事故の原因)
- 高温・直射日光の当たる場所や狭い箱に入れて使用しないでください。また、吸気・排気口をふさぐ状態での使用しないでください。(電動機の焼損、寿命低下の原因)
- 使用される場合は、硬く水平な床面に設置してください。また、必ず空気タンクを下にして、設置用ゴム部を床面に設置して使用してください。
 - ・不安定な場所に設置すると、製品が移動や落下、転倒して事故の原因となります。また、高所で使用する場合は落下防止のため、トッテを確実にロープやバンドで固定してください。
- 各部のボルトやネジのゆるみがないことを確認してください。(異常音、異常振動や事故の原因)
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、製品、空気タンクなどに破損や亀裂・変形がないことをよく確認してください。破損や亀裂、変形があると事故の原因になります。
 - ・トッテ、空気タンク、制御ボックスなどに変形や破損がある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または最寄りのサービス店に連絡して修理してください。
- 電源電圧が単相交流100Vであることを確認してください。また、200V電源、発電機や直流電源では使用しないでください。(起動不良や発火、発熱、電動機焼損などの原因)
- 昇圧器などのトランス類は使用しないでください。(故障や発火、発熱、焼損の原因)
- 必ず接地(アース)を行なってください。
 - ・接地はさし込みプラグ横から出ているアースクリップを電源部の接地端子に接続してください。アースクリップ、接地端子に異常がないか確認してください。アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。
- 接地の際はガス管には絶対に接続しないでください。(ガスによる火災・爆発事故の原因)
- 本製品を接続される電源については、必ず感電防止用漏電しゃ断器(15mA)を接続してください。
 - ・漏電・感電事故の防止となります。漏電遮断器の取り付けには、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。
- 本製品を接続される電源については、十分余裕のある30A以上の容量としてください。
 - ・定格電流を超えて使用しますと、発火、発熱の危険性がありますので使用しないでください。
- 電源コードに無理な力を加えないでください。
 - ・電源コードを引っ張って、本製品を移動させたり、電源コンセントから抜かないでください。また、電源コードを熱、油分、角部のある所に近づけないでください。(断線・ショート・焼損事故の原因)

5. 保守・点検

ハンディコンを永くより安全にご使用いただくために、以下の日常の点検・お手入れとオーバーホールを行ってください。

日常の点検・手入れ

- 異音・異常振動
運転/停止スイッチを入れ、運転中に異音、異常振動がないか確認してください。
- 操作部
減圧弁、スイッチなど正常に作動するか確認してください。
- 外観
製品、空気タンクなどに破損や亀裂・変形がないことをよく確認してください。
- ドレン抜き
保守・点検を行う場合は、必ず運転/停止スイッチを押して停止させ、運転表示LEDが点滅しているのを確認してから、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。運転表示LEDが点灯している状態で、さし込みプラグを電源コンセントから抜きますと、停電自動復帰機能が働き、電源を接続した際に自動的に運転を開始し、思わぬ事故につながります。



整備(オーバーホール・部品交換・点検整備)について

- お買い上げ日から3年または空気圧縮機運転時間1,200時間のうち、どちらか早く達した時点で、販売店または最寄りのサービス店へ整備(オーバーホール)を依頼してください。
- 本製品は、整備(オーバーホール)時期が近づいたことを表示LEDの点滅、点灯によりお知らせする機能を搭載しています。運転/停止スイッチを押して運転開始後に整備時期お知らせ表示LEDが点滅するようになりましたら、整備(オーバーホール)時期ですので、販売店または最寄りのサービス店へ整備(オーバーホール)を依頼してください。また、整備時期お知らせ表示LEDが点灯し、ブザーが鳴動するようになった場合は整備時期を過ぎていますので、直ちに使用を止めて、販売店または最寄りのサービス店へ整備(オーバーホール)を依頼してください。



圧縮機運転時間が1,150時間を超えると、運転/停止スイッチをONにした直後に整備時期お知らせ表示LEDが点滅し、1,200時間を超えると点灯し、ブザーが運転開始後、5秒間鳴動することで、オーバーホール時期であることをお知らせします。

- 整備(オーバーホール)時は、必ずパッキン交換が必要となります。



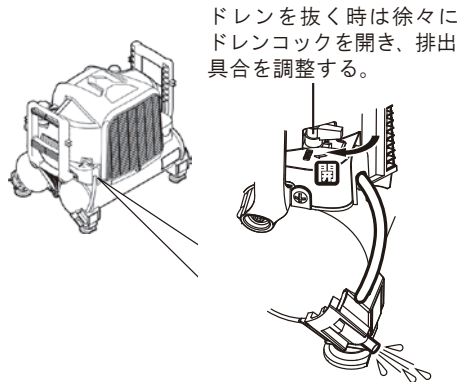
警告

本製品に異常が発生した場合は、直ちに運転/停止スイッチを押して停止して、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。さらにドレンコックを緩め、圧縮空気を全て抜いて、お買い求めの販売店、または最寄りのサービス店に連絡して点検、修理をしてください。そのまま使用していると事故の原因となります。

4. 運転から停止まで (つづき)

ご使用後

1. 運転を終了する場合は、必ず運転 / 停止スイッチを押して停止させ、運転表示 LED が点滅しているのを確認してからさし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。運転表示 LED が点灯している状態で、さし込みプラグを電源コンセントから抜きますと、停電自動復帰機能が働き、電源を接続した際に、自動的に運転を開始し、思わぬ事故につながります。
2. ドレンコックを開き空気タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いて下さい。
空気タンクに空気を充填した状態で長時間放置すると空気タンクが破裂する恐れがありますので、必ず実施してください。
ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および摩耗粉、サビなどが含まれます。顔をドレンコックに近づけたり、顔に向けてドレンを排出しないでください。
ドレンコックを急激に開きますと地面、床等ではねかえったドレンおよび圧縮空気が身体にかかる場合があります。周囲に飛散する確認し、徐々にドレンコックを開いてください。
ドレンや圧縮空気によって失明や耳を傷める恐れがありますので絶対にしないでください。
3. 空気タンク内のドレンと圧縮空気がすべて抜けてから接続したエアホースを外してください。空気タンク内に圧縮空気が残っている状態でエアホースを外すとカプラが跳ね、ケガや事故の原因となります。外す際は顔を近づけないでください。



ご使用時にお気に止めていただきたい事

1. 本製品はガンや空気工具用の空気圧縮機として製造していますので軽作業に限ってお使いください。また 30 分以上の連続運転となる用途には使用しないでください。圧縮機本体、電動機が高温となり製品寿命の低下、性能低下の原因となります。
2. 寒冷地（凍結する温度以下の環境）の場合は、凍結の恐れのない温度（5℃以上）で運転してください。
3. 取り出し空気中には、吸い込み空気中の水分が結露してドレンとして混入します。取り出しホース途中において市販のエアフィルターなどを通すことをおすすめします。
4. 破損や故障のおそれがありますので本製品の上に座ったり、物を載せたりしないでください。

保管

1. 長期間（約 1 ヶ月）ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5 分以上の運転を行い、サビつきなどによる不具合を防いでください。
2. 使用しない場合は、乾燥した、お子様の手の届かない場所に保管してください。
3. 凍結の恐れのない温度（5℃以上）で保管してください。

安全上のご注意 (続き)

警告

- さし込みプラグは電源コンセントに完全に差し込んでください。
 - ・さし込みが不完全ですと、さし込みプラグが外れかかって電源コンセントやさし込みプラグが発熱し、発火する危険があります。さし込む際は、感電防止のため、さし込みプラグの金属部には手を触れないでください。
- 濡れた手では絶対に触れないでください。
 - ・濡れた手のままで、さし込みプラグを抜き差ししたりスイッチを操作すると感電する危険があります。
- 延長コードやドラムコード等を使用される場合は、必ずアース線を備えた 3 芯キャブタイヤコードで太さ 2.0mm² 以上、長さ 30 m 以内のものを使用してください。
 - ・延長コードを使用される場合は、必ず「太さ 2.0mm² 以上、長さ 30 m 以内のもの」を全て引き出し、伸ばした状態で使用してください。太さ 2.0mm² 未満のコードの使用およびコードを巻いたままの使用は、起動不良の原因だけでなく、発火、発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。
- 本製品の電源コード及び、使用の延長コードは定期的に点検してください。
 - ・さし込みプラグまたは電源コード、延長コードが損傷している場合は使用せずに交換してください。本製品の電源コードの交換は、お買い求めの販売店または最寄りのサービス店へ連絡し交換を依頼してください。
- 電源コードの上に物を乗せないでください。
 - ・電源コードの上に製品などを置くと、傷ついたり、熱がこもり発火する危険があります。

注意

- 作業場の周囲環境を確認してください。
 - ・アンモニア・酸・塩分オゾンガス・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスの雰囲気では使用しないでください。（製品全体の発錆・寿命低下の原因）
- 本製品運転時の製品周囲温度が 5 ~ 40℃になるようにしてください。（製品寿命低下・電動機焼損・動作不良の原因）
- 本製品の上に座ったり、物を載せたりしないでください。（破損や亀裂、変形の原因）
- 作業場は、いつもきれいに保ち、十分明るくしてください。

運転時

警告

- 空気タンクに空気を充填した状態で長時間、直射日光に当てたり、高温な場所に放置しないでください。
 - ・空気タンク内の圧縮空気がさらに高圧になり、タンクが破裂する恐れがあります。
- 運転時、運転停止直後に空気タンクなどの金属部に直接手を触れないでください。
 - ・運転時、運転停止直後の空気タンクなどの金属部は、高温になる事があります。これは空気の圧縮熱のためで故障ではありませんがやけどに注意してください。
- 圧取出口には市販の耐熱温度 60℃以上、耐圧 1.2MPa {12.2kgf/mm²} 以上、内径 6mm 以上のエアホースを使用してください。
- エアホースを接続する前にエアホースとエアホースプラグが完全に固定されていることを確認してください。
 - ・固定が不完全だと、外れて事故の原因となります。

安全上のご注意 (続き)

運転時 (つづき)

警告

- カプラにエアホースプラグが確実に接続されているか確認してください。(故障や事故の原因)
- カプラにフィルタや減圧弁などの重量物を直接接続しないでください。(故障や破損事故の原因)
- 使用される空気工具の使用空気圧力範囲内で使用してください。それ以上の圧力には減圧弁を設定しないでください。
 - ・圧力が高すぎると空気工具の寿命を早めたり故障や事故の原因となります。
- 雷の場合、必ずさし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。(破損・故障の原因)
- 本製品に異常が発生した場合は、直ちに運転/停止スイッチを押して停止して、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・さらにドレンコックを緩め、圧縮空気を全て抜いて、お買い求めの販売店、または最寄りのサービス店に連絡して点検、修理をしてください。そのまま使用されると事故の原因となります。

注意

- 本製品は、ガンや空気工具用の空気圧縮機として製造していますので軽作業に限ってお使いください。また30分以上の連続運転となる用途には使用しないでください。
 - ・圧縮機本体、電動機が高温となり製品寿命の低下、性能低下の原因となります。

運転終了後

警告

- 運転を終了する場合は、必ず運転/停止スイッチを押して停止させ、運転表示LEDが点滅しているのを確認してからさし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・運転表示LEDが点灯している状態で、さし込みプラグを電源コンセントから外しますと、停電自動復帰機能が働き、電源を接続した際に、自動的に運転を開始し、思わぬ事故につながります。
- 濡れた手では絶対に触れないでください。
 - ・濡れた手のままで、さし込みプラグを抜き差ししたり、スイッチを操作すると感電する危険があります。
- 運転終了直後に空気タンクなどの金属部に直接手を触れないでください。
 - ・運転終了直後の空気タンクなどの金属部は、高温になる事があります。これは空気の圧縮熱のため故障ではありませんがやけどに注意してください。
- ドレンコックを開き空気タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いて下さい。
 - ・空気タンクに空気を充填した状態で長時間放置すると空気タンクが破裂する恐れがありますので、必ず実施してください。
- ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および摩耗粉、サビなどが含まれます。顔をドレンコックに近づけたり、顔に向けてドレンを排出しないでください。
 - ・ドレンコックを急激に開きますと地面、床等ではねかえったドレンおよび圧縮空気が身体にかかる場合があります。周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンコックを開いてください。ドレンや圧縮空気によって失明や耳を傷める恐れがありますので絶対にしないでください。
- 空気タンク内のドレンと圧縮空気がすべて抜けてから接続したエアホースを外してください。
 - ・空気タンク内に圧縮空気が残っている状態でエアホースを外すとカプラが跳ね、ケガや事故の原因となります。外す際は顔を近づけないでください。(失明・ケガの原因)

4. 運転から停止まで (つづき)

停電自動復帰機能について

本製品にはブレーカが落ちたり、電源プラグを抜いた場合、通電復帰時の運転停止を防ぐために停電自動復帰機能が搭載されています。

1. 停電自動復帰時の動作について
通電復帰時には、運転が開始することをお知らせするために、3秒間ブザーにて警報を鳴らした後、運転を再開します。
2. 停電自動復帰の中止について
停電自動復帰を中止したい場合は、停電自動復帰時のブザー鳴動中に「運転/停止」、「運転切替」、「運転復帰」のいずれかのスイッチを一度押すことで、停電自動復帰を中止することができます。
(※停電自動復帰機能設定解除ではありません。)
3. 停電自動復帰機能の解除について
停電自動復帰機能を解除することができます。解除方法は以下の通りです。
 - ①電源プラグを電源コンセントに差し込む。
 - ②「運転復帰」スイッチを押したまま保持する。
 - ③②から10秒以内に「運転切替」スイッチを押すと、「ピッ」とブザーが鳴動する。
 - ④その状態を保持すると、3秒後に設定完了のブザーが、「ピー」と3秒間鳴動し停電自動復帰機能が解除される。
 ※停電自動復帰機能解除後に、再び停電自動復帰機能を設定したい場合は、①～④の操作を再度行うことで設定が可能になります。





いずれかのスイッチを一度押すと
停電自動復帰を中止

異常電圧(低電圧)の場合、低電圧検知を優先するため停電自動復帰機能が作動しない場合があります。この場合は、運転/停止スイッチを押して運転を再開してください。

異常表示LEDの点滅による警報機能について

空気圧縮機の異常時に自動的に運転を停止する機能と、これらの異常をLEDの点滅とブザーの鳴動でお知らせする警報機能を搭載しています。圧縮機が運転を停止し、ランプが点滅している場合は、下表により対応してください。



表示(LED)と動作	状態	原因	対応
異常表示LEDが点滅  ブザーが3秒間鳴動	停止	オーバーヒート	電源や延長コードの接続を改善(P4を参照)し、また本製品を風通しの良い場所に設置しなおし、十分冷却したのち運転復帰ボタンを押してください。 

運転再開後、空気圧縮機の停止・上記表示LEDの点滅が繰り返される場合、空気圧縮機の故障が考えられます。
本製品に異常が発生した場合は、直ちに運転/停止スイッチを押して停止して、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
さらにドレンコックを緩め、圧縮空気を全て抜いて、お買い求めの販売店、または最寄りのサービス店に連絡して点検、修理をしてください。
そのまま使用されると事故の原因となります。

4. 運転から停止まで (つづき)

起動電流・異常電圧 (低電圧) について

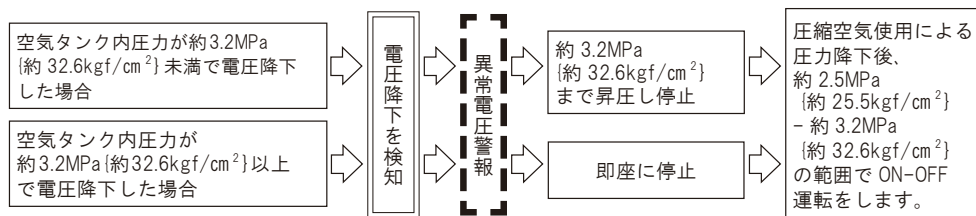
起動電流

元電源のブレーカ落ちや空気圧縮機の過熱による停止を極力防止するため、本機は定格電流値を15Aレベルに抑える制御を搭載しています。

また、起動電流を最大20Aに抑えた低電流スタートにより、起動時の元電源への負担を軽減しています。

低電圧

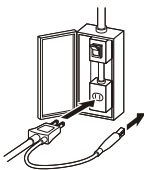
運転中の入力電源電圧が運転可能な電圧降下の場合、全ての運転モードのON-OFF範囲は約2.5MPa {約25.5kgf/cm²} - 約3.2MPa {約32.6kgf/cm²} に制御されます。



低電圧状態および低電圧による運転停止状態になると、空気タンク内圧力表示の5個のLEDが点滅し、『低電圧』になっていることをお知らせします。(過電圧についても同警報を出し運転を停止させます)

低電圧警報が出た場合の表示とその対処法

表示(LED)と動作	状態	原因	対応
操作部LED 全て (11個)が同時点滅 ブザーが3秒間鳴動	停止	低電圧	電源や延長コードの接続を改善(P4を参照)したのち電源コンセントを接続しなおしてください。
空気タンク内圧力表示 LED(5個)と運転表示 LEDが同時点滅 	低電圧運転		



<参考> 過電圧警報が出た場合の表示とその対処法

表示(LED)と動作	状態	原因	対応
操作部LED 全て (11個)が同時点滅 ブザーが3秒間鳴動	停止	過電圧	電源を改善したのち、電源コンセントを接続しなおしてください。

安全上のご注意 (続き)

警告

- 電源コードに無理な力を加えないでください。
 - ・電源コードを引っ張って、本製品を移動させたり、電源コンセントから外さないでください。また、電源コードを熱、油分、角部のある所に近づけないでください。(断線・ショート・焼損事故の原因)
- 本製品を運搬するときは、各部の温度が十分さめてから行なってください。(やけどの原因)

注意

- 本製品を保管する際は必ず水平な場所に保管してください。
 - ・縦置きにはしないでください。

保守・点検

警告

- 保守・点検を行う場合は、必ず運転/停止スイッチを押して停止させ、運転表示LEDが点滅しているのを確認してから、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・運転表示LEDが点灯している状態で、さし込みプラグを電源コンセントから抜きますと、停電自動復帰機能が働き、電源を接続した際に、自動的に運転を開始し、思わぬ事故につながります。
- ご購入後、3年または整備時期お知らせ表示LEDが点滅したら、お買い求めの販売店または最寄りのサービス店に連絡し、必ず整備(オーバーホール)を行なってください。
 - ・なお、交換部品は、必ず精和純正部品を使用してください。故障や事故の原因となります。
- お客様での製品および部品の分解・修理は、大変危険です。絶対にしないでください。
 - ・専門の修理技術者以外の方が分解・修理しますと、十分な性能を発揮できないだけでなく、故障や事故の原因になります。
- 製品、空気タンクなどに破損や亀裂・変形がないことをよく確認してください。トッテ、空気タンク、制御ボックスなどに変形や破損がある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または最寄りのサービス店に連絡して修理してください。
- 空気タンクの漏れ箇所の補修、改造は絶対に行なわないでください。
 - ・破損や亀裂、変形があると破損・破裂による人身事故の原因になります。
- 電源コンセントや電源プラグはちりやほこりがたまらないように注意して、定期的に清掃してください。
 - ・定期的に電源コンセント、電源プラグを確認し、乾いた布でほこりを取り除くなどを行なってください。この時、変形、変色をしていたら、最寄りの電気工事店などに相談ください。

注意

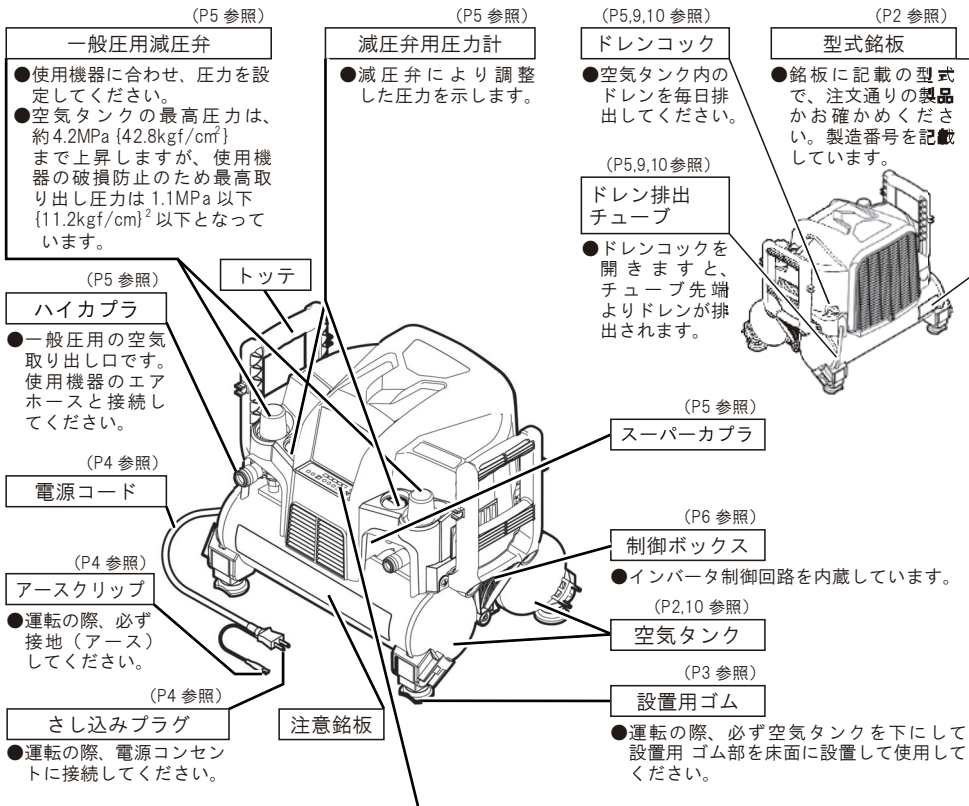
- 長時間(1ヶ月以上)ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行ない、サビ付きなどを防いでください。また、運転を再開する場合も同様の運転を実施してください。(製品寿命低下・性能低下の原因)

その他 (寒冷地でのご使用など)

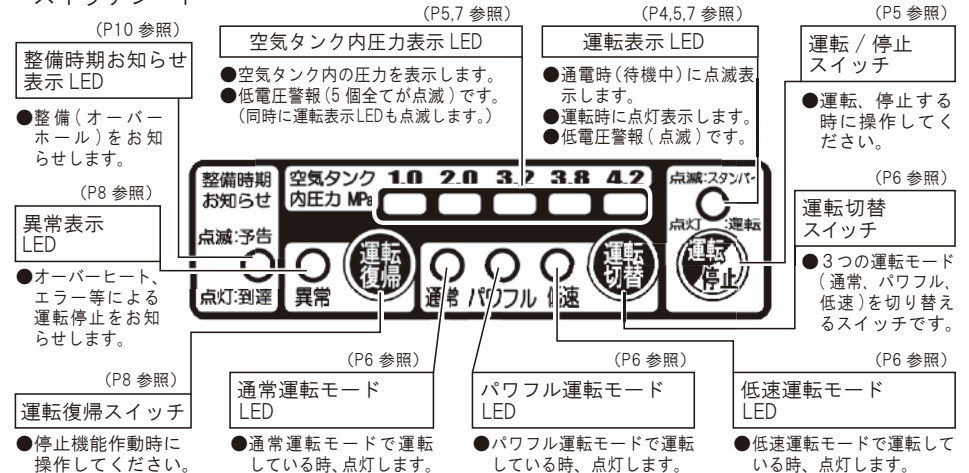
注意

- 凍結の恐れのない温度(5℃以上)で運転・保管してください。(凍結による作動不良・破損の防止)

1. 各部の名称とはたらき



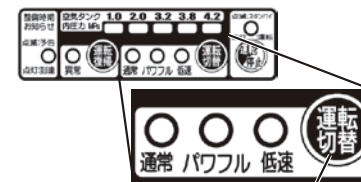
スイッチシート



4. 運転から停止まで（つづき）

運転モードの切替え

本製品は使用状況に応じて運転を切り替える事ができます。運転切替スイッチを押すと運転モードが切り替わり、LEDで現在の運転モードを点灯してお知らせします。再度、運転切替スイッチを押す事で運転モードが次の運転モードに切り替わりますのでお好みの運転モードに設定してください。



押すと運転モードが切り替わります。

通常運転モード 左側のLEDが点灯します。

通常の作業に適した運転モードです。約4.2MPa {約42.8kgf/cm²} で圧縮機が停止し、空気タンク内の圧力が約3.2MPa {約32.6kgf/cm²} になると運転を再開する設定です。



「通常」のLEDが点灯

パワフル運転モード 中央のLEDが点灯します。

大きめのエアノズルを使用する作業に適した運転モードです。約4.2MPa {約42.8kgf/cm²} で圧縮機が運転し、空気タンク内が約3.8MPa {約38.7kgf/cm²} になると運転を再開する設定です。



「パワフル」のLEDが点灯

低速運転モード 右側のLEDが点灯します。

作業環境に配慮する作業に適した運転モードです。圧縮機の運転・停止・再開の圧力設定は通常運転モードと一緒ですが、電動機回転速度を強制的に上限1,500min⁻¹にし、音量を低減する設定です。（回転速度が低速化しますので圧縮空気充填時間は長めとなります。）



「低速」のLEDが点灯

2. インバータ制御について

- 本製品はインバータ制御により、回転速度を変化させています。この回転速度の変化により運転音が変わりますが、異常ではありません。また、インバータ制御により低電圧でも運転は可能ですが温度上昇などによる製品寿命の低下につながりますので低電圧での運転は避けてください。
- ラジオなどに対して電波ノイズが影響する場合がありますので本機より状況に応じ約1m以上離してご使用ください。また、本製品を自動車に搭載して使用する場合も、ラジオに電波ノイズが影響する場合がありますので、アース接続の確認と自動車からおろしてご使用ください。

3. 運転停止機能について

- 本製品には下記の異常時対応の運転停止機能を設けています。

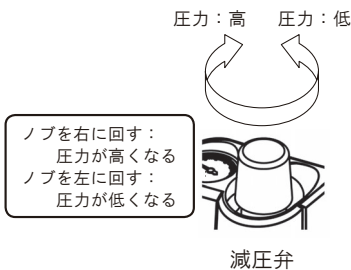
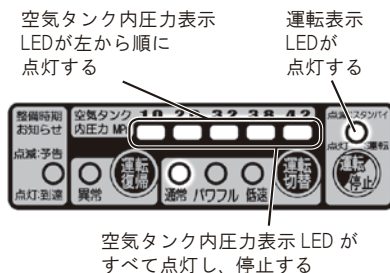
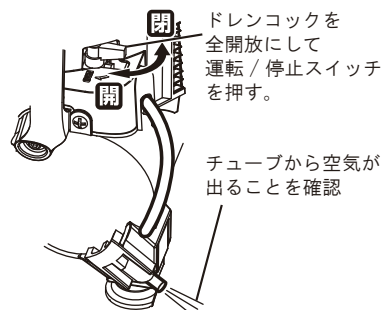
- ・電動機焼損保護のサーマルプロテクタ作動による停止
- ・電圧降下、過電圧等の電圧異常による停止

また、本製品には上記の停止の場合、警報機能を設けています。詳細はP7～8を参照し、対応してください。

4. 運転から停止まで

起動から圧縮空気使用可能状態までのながれ

- 電源コンセントに接続し通電させた時、運転表示LEDが「点滅」する事を確認してください。
- ドレンコックを全開にしてから、「運転/停止スイッチ」を押して、起動してください。運転表示LEDが「点灯」します。
- ドレンコックの排出チューブから空気の出ることを確認してください。
- ドレンコックを全閉にし、空気タンク内の圧力が上昇するのに伴い、空気タンク内圧力表示LEDが左から順に表示圧力に達すると点灯していきます。
- 空気タンク内の圧力が約4.2MPa {約42.8kgf/cm²} になりますと5個のLEDが全て点灯し圧縮機が停止します。
- 減圧弁による圧力の調整は、ノブを右いっぱいに戻し圧力を上げ、次にノブを左いっぱいに戻し圧力を下げたのち、必要な圧力に調整してください。高い圧力から調整しますと、使用中に調整圧力が下がる場合があります。ご使用の空気量が多く、空気タンク内圧力が大きく下がるような場合、減圧弁の特性により調整圧力が約0.2MPa {約2kgf/cm²} 程度上昇することがあります。
- 減圧弁で設定できる最高取り出し圧力は、約1.1MPa {約11.2kgf/cm²} です。

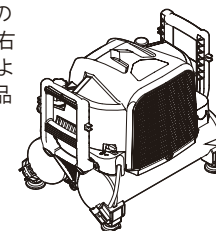


圧縮空気使用と運転中の事柄について

- カブラにエアホースを接続して作業を開始してください。
 - エアフィルタ、減圧弁、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。
 - 減圧弁の調整圧力を下げた時、接続したエアホースの空気は減圧弁から大気に逃がすようになっています。その時、シューという音がでますが、空気漏れなどの不具合ではありません。

2. 現品の確認

- 荷ほどきされましたら、ご注文どおりの製品がお確かめください。製品の背面(右図参照)に張り付けてあります銘板により、本製品の型式と現品、および付属品の確認をしてください。



型式銘板

SEIWA ハンディコン HC-1250DX	
型式	HC-1250DX
周波数	50/60Hz
入力	1500W
電流	15 A
回転速度	2800min ⁻¹ 以下
製造番号	00000000
タンク内最高圧力	4.2MPa
シリンダ径(mm)	(低)67x24x1
x行程(mm)x数	(高)45x10x1
空気量	115L/min (0.7MPa時)

精和産業株式会社

付属品梱包内容は次のとおりです。

○取扱説明書〈1冊〉

- 空気タンク・制御ボックスなど 輸送中の破損、変形箇所がないかお確かめください。



- 製品の側面に張り付けてあります銘板により、本製品の型式と現品の確認をしてください。
- ご注文の製品と異なる場合または輸送中の破損、変形箇所がある場合は、必ずお買い求めの販売店へご連絡ください。破損、変形箇所がある場合、そのままご使用になりますと、損傷事故などにつながる場合があります。

3. 運転準備

運搬

- 運搬はていねいに行ってください。
- 車での運搬時は移動防止を施してください。



トッテに変形や破損およびねじの緩みがないことを確認してください。運搬中に落下して破損および人身事故につながる場合があります。



トッテで持ち運ぶ際、落ち着いて、ていねいに行ってください。乱暴に扱いますと本製品の破損および本製品の角・突起などでのケガにつながる場合があります。

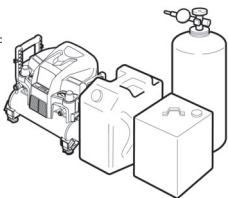
ご使用の作業環境と設置環境

- 作業場はいつもきれいに保ち、十分明るくする事が安全作業につながります。また作業環境に対応し保護メガネ・保護帽・安全靴・防音保護具などを着用してください。
- 運転設置される場所について次のページのことをご確認ください。

3. 運転準備 (つづき)

警告

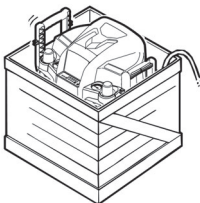
近くに爆発性・引火性ガス(アセチレンガス・プロパンガスなど)・石油類(ガソリン、灯油など)・有機溶剤(シンナーなど)・爆発性粉じんなどのある場所では絶対に使用しないでください。



禁止

(火災や事故の原因)

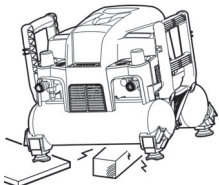
高温・直射日光の当たる場所や狭い箱に入れて使用しないでください。また、吸気・排気口をふさぐ状態で使用しないでください。



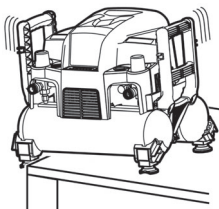
禁止

(電動機の焼損、寿命低下の原因)

使用される場合は、硬く水平な床面に設置してください。また、必ず空気タンクを下にして、設置用ゴム部を床面に設置して使用してください。不安定な場所に設置すると、製品が移動や落下、転倒して事故の原因となります。また、高所で使用する場合は落下防止のため、トッテを確実にロープやバンドで固定してください。



禁止



禁止

お子様や作業関係者以外は近づけないでください。作業者以外、製品や電源コードに触れさせないでください。作業者以外、作業場に近づけないでください。



禁止

雨や蒸気など水分のかかる場所、水溜りでは使用しないでください。木くずなどのゴミやほこり、油分の多い場所には設置しないでください。また、鉄粉・砂じん・粉じんなどの異物がかかる場所には設置しないでください。



禁止

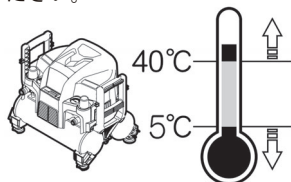
(過熱火災事故や異常摩耗の原因)

注意

本製品運転時の製品周囲温度が5～40℃になるようにしてください。



禁止



(製品寿命低下・電動機焼損・動作不良の原因)

アンモニア・酸・塩分オゾンガス・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスの雰囲気では使用しないでください。

禁止

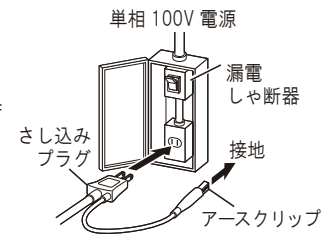


(製品全体の発錆・寿命低下の原因)

3. 運転準備 (つづき)

運転準備 (運転 / 停止スイッチを押す前に)

- 各部のボルトやネジのゆるみがないことを確認してください。
- さし込みプラグを電源コンセントに接続した時、緩かったり、すぐ外れるようでしたら修理が必要です。最寄りの電気工事店などにご相談ください。
- 電源コードをトッテ部からすべて取り外し、電源コンセントに接続してください。この時、電源コードに無理な力を加えないでください。また、さし込みプラグの金属部には手を触れないでください。
- ご使用できる電源は単相 100Vのみです。発電機や直流電源では使用しないでください。
- 電源は十分余裕のある 30A以上の容量としてください。
- 本製品を接続される電源については、必ず感電防止用漏電しゃ断器 (15mA) を接続してください。漏電・感電事故の防止となります。漏電遮断器の取り付けには、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。
- 必ず接地 (アース) を行なってください。接地はさし込みプラグ横から出ているアースクリップを電源部の接地端子に接続してください。アースクリップ、接地端子に異常がないか確認してください。アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。
- 電源コンセントに接続し通電させた時、運転表示 LED が点滅する事を確認してください。
- 延長コードを使用しますと電圧降下によるトラブルの原因となります。なるべく、延長コードのご使用を避け、直接電源に接続してください。やむを得ず延長コードを使用する場合は以下の事を順守してください。



運転表示 LED が点滅する事を確認



延長コードによる電源接続について

延長コードやドラムコード等を使用される場合は、必ずアース線を備えた 3 芯キャブタイコードで太さ 2.0mm² 以上、長さ 30 m 以内のものを使用してください。

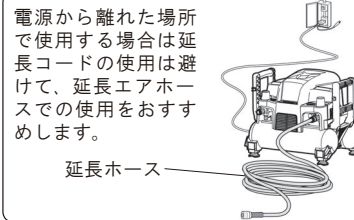
○延長コードを使用される場合は、必ず「太さ 2.0mm² 以上、長さ 30 m 以内のもの」を全て引き出し、伸ばした状態で使用してください。太さ 2.0mm² 未満の電源コードの使用および電源コードを巻いたままでの使用は、起動不良の原因だけでなく、発火、発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。

○電源は十分余裕のある 30A以上の容量としてください。

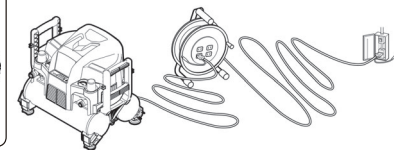
延長コードご使用時のご注意 (許容長さ 30m)

機種	太さ	1.25mm ²	2.0mm ²	3.5mm ²
HC-1250DX		×	○	◎

◎ : 安心して使用可能
○ : 使用可能
× : 使用不可



延長ホース



延長コード過熱防止のため、コードはすべて引き出してご使用ください。

注意

延長コードでの他の機器との併用は避けてください。(電源容量不足、電圧降下による故障の原因になります。)